

外国人住民と日本人住民が一緒に作る！  
ブラジル人学校に通う子ら 母語で受けられる健康診断に安心感  
子どもの健康の増進のための健康フェスを実施しました



①スタッフ集合写真



②健康診断を受ける児童

NPO 法人コレジオ・サンタナは、愛荘町にあるブラジル学校サンタナ学園の支援と国際交流・多文化共生事業を行なっている。コロナ禍の2021年に文部科学省が初めて外国人学校に通学する子どもの保健衛生環境に関してアンケート調査を行った。回答した学校のうち25%で保健室がなく、健康診断の実施も約79%だった。外国人学校における保健衛生環境整備の改善が重要視された。サンタナ学園ももれなく保健室はなく、健康診断が行われていなかった。23年度健康しがの補助を受け、母語で受けれる子どもたちの健康診断と情報発信を行った。

【主催】NPO 法人コレジオ・サンタナ (<https://npocolegiosantana.localinfo.jp/>)

【取組】Saúde Shiga (サウージ滋賀) ※ポルトガル語 Saúde の意味は「健康」

【HP】<https://saude-shiga.localinfo.jp>

2023年11月25日（土）にサンタナ学園で、ポルトガル語で受けれる健康診断と健康相談、健康的な食の提案・試食などの健康フェスを行った。企画からブラジル人住民も参加し、楽しく気軽に参加し家庭で実践してもらえるようアイデアを出し合った。子どもたちはオリジナルスタンプラリー表を片手に身長体重測定や視力聴力テスト、医師の診察をクリアしスタンプを集めた。ゴールでは、手形を取り健康記録 Book を完成。ブラジル人医師の健康相談では、通訳を介さず直接話せたことで涙する人も。サンタナ学園の先生方にはブラジル式 BBQ に日本式 BBQ をプラスしてもらい、お肉と一緒に野菜も焼いてもらった。焼き加減がわからず半生オニオンで半泣きに。日本食（発酵食品）の紹介ブースでは、お味噌汁が大好評。具材はブラジル家庭にある定番野菜のキャベツと食卓に上がらないワカメ豆腐の2種類を用意した。約100名の来場者があり笑いあり涙ありの健康×多文化共生のイベントとなった。



【この取組から得られたこと】

- ①サンタナ学園で初の健康診断を行えた。
- ②若い地元医師や医療従事者と繋がれた。
- ③日本に暮らすブラジル住民のライフスタイルに合った提案ができた。

「健康」は万国共通のみんなの関心事！外国人県民も共に協力し健やかに暮らせる地域づくりを一緒にしてみませんか？普段の取組に少しの工夫や理解で多様性が生まれます。アドバイス、講演、その他ご相談承ります。ご興味を持って頂けた方はぜひご連絡頂けると幸いです。

<<お問い合わせ先>>

・NPO 法人コレジオ・サンタナ/担当：柳田 連絡先 080-4295-4483